Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトコッカス・フェカリス L-チロシン デカルボキシラーゼ

Cat. No. NATE-0421

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、チロシン脱炭酸酵素（EC 4.1.1.25）は、化学反□を触媒する酵素です：L-チロシン ↔ チラミン + CO2。したがって、この酵素は1つの基質、L-チロシンと2つの生成物、チラミンおよび二酸化炭素を持ちます。この酵素は、炭素-炭素結合を切断するカルボキシ一リラーゼに特に属するリラーゼのファミリーに属します。この酵素は、チロシン代謝およびアルカロイド生合成に関与しています。1つの補因子、ピリドキサールリン酸を使用します。
用途	ストレプトコッカス・フェカリス由来のL-チロシン脱炭酸酵素は、ガスクロマトグラフィー質量分析法を用いてジアミンオキシダーゼのカルボニル活性部位を分離・同定する研究に使用されました。ストレプトコッカス・フェカリス由来のL-チロシン脱炭酸酵素は、バイオトランスフォーメーションに使用するための珪藻土担体上のストレプトコッカス・フェカリスの吸着を調□する研究にも使用されました。
別名	チロシン脱炭酸酵素; EC 4.1.1.25; L-チロシン脱炭酸酵素; L-(–)-チロシンアポ脱炭酸酵素; L-チロシンカルボキシ-リアーゼ; 9002-09-9

製品情報

由来	ストレプトコッカス・フェカリス
EC番号	EC 4.1.1.25
CAS登□番号	9002-09-9
活性	> 0.1 単位/mg 固体
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 6.2の条件下で1.0μモルのL-チロシンの分解を1分あたり引き起こします。

保管・発送情報

保存方法	−20°C